

2020年(令和2年)4月14日

坪生小学校保護者の皆様へ

福山市立坪生小学校
校長 樋上 浩子

臨時休業期間中における「自由登校日」について

日頃より坪生小教育へのご理解・ご協力誠にありがとうございます。

広島県および福山市内において、新型コロナウイルス感染拡大が急速に広がりつつあります。昨日(13日)は、広島県知事により「感染拡大警戒宣言」及び外出自粛要請の平日拡大に関するコメントが発表されました。現在広島県や福山市は、今後、東京や大阪のような感染拡大になるか否かの瀬戸際にあると言えます。

昨日配布した「臨時休業中の学習等計画表」について、児童・保護者の皆様に誤解を招く恐れのある部分がありましたので、改めてご説明いたします。

1 自由登校日の意義について

学習計画表に記載されている「自由登校」という文言が、「学校に行きたい日は行ける。」というような積極的な印象がありますが、あくまでも登校を「自分で選ぶ、決める」ことができる日であって登校を推奨する意味ではありません。また、児童によっては、自分で学習を進めることを難しく感じたり、家の中で過ごすことに対して過度のストレスを感じたりします。「自由登校日」は、それらの不安要素を少しでも緩和するための機会として設けられています。

前回の臨時休業期間(3月2日～3月25日)では、福山市内の小・中学校等で「児童受け入れ」という措置をとりました。当時は広島県内でも殆ど感染者がいなかったこともあり、幸いにも「児童受け入れ」による感染事例は発生しませんでした。しかし、今回の臨時休業期間は、前回と状況が大きく異なります。新型コロナウイルスに感染し、拡大する危険性がかなり高まっています。外出を控えても感染する確率はゼロではありませんが、登校するよりも、家庭で学習を進める方が感染拡大の危険性は低くなると考えます。臨時休業期間中の自由登校日に、通常とほとんど変わらない人数が登校してしまうと、臨時休業本来の目的が失われてしまう恐れがあります。

以上のことを踏まえて、臨時休業期間中の学習を計画していただきたいと思います。

2 学年別登校の意義について

「学習計画表」には自由登校日が学年別に記載されています。

「うちの子は3年生なんだけど5年生の時間帯に登校させてもいいのでしょうか。」といった問い合わせが数件ありました。坪生小学校としては、

- (1) 今回の臨時休業期間は「家庭学習が基本」であること。
 - (2) 感染リスクを少しでも減らすための「学年別」であること。
- をお伝えしています。

前述のように、今回の臨時休業は前回と状況が異なることもあり、今回の「自由登校」は前回のような「児童を学校で預かる」というものではありません。

3 予定変更に伴う学校への連絡について

予定変更などで、自由登校日に登校しない場合については、学校への電話連絡などは不要です。

この度の臨時休業期間が新型コロナウイルス拡大に歯止めをかけ、収束につながることを願っています。保護者の皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

